



世界こどもスポーツサミットin横浜開 各国のキャプテンがフェアプレーを誓う

スポーツを通じてよりよい未来を築き上げるために

8月21日(金)、神奈川県横浜市のパシフィコ横浜会議センターで、世界こどもスポーツサミットin横浜が開催され、日本代表キャプテン30名と、海外代表キャプテン12名を含む、総勢927名が参加した。

日本代表キャプテンは、6月9日、7月5日、8月9日の3回にわたり、横浜市内でキャプテン会議を行い、今回のサミットで発表される宣言の検討、作成を行ってきた。また、海外代表キャプテンとEメールで意見交換をし、19日(水)、20日(木)には合宿を行い、国際キャプテン会議も開催した。

午前10時からサミットは開始され海外代表、日本代表の順でキャプテンたちが入場。キャプテンの宣誓を、寺崎愛海さんとユージン・ヤマモトさん(イギリス)が代表して行った。

続いて主催者紹介があり、阿部守一横浜市副市長は挨拶で「横浜市開港150周年を迎える記念すべき年に大きなイベントを行えることは嬉しい。みなさんの活躍を期待している」と話した。

午前11時から基調講演が行われ、ゲスト講師としてオリンピック3大会連続出場の元水泳選手・田中雅美さんが登場。「スポーツを通じて行うよりよい未来づくり」と題した講演では、総合コーディネーターの間野義之早稲田大学スポーツ科学学術院教授の進行で、自らの経験をもとに「スポーツから学ぶことの大切さ」などを話し、代表キャプテンや選手たちも真剣な表情で講演を聞いていた。

ランチレセプションをはさみ、午後1時からテーマ別発表会が行われ、本サミットのテーマ「環境」「健康」「友情・平和」「努力・挑戦」「フェアプレー」について、キャプテンたちが討論の内容と宣言案を発表した。



キャプテン代表として宣誓を行う寺崎愛海さんとユージン・ヤマモトさん



主催者の方々もフェアプレー精神の向上を願う

JTU Official Partners & Official Suppliers



午後2時40分からの公開討論会では、前述のテーマ別発表会を受けて、客席から宣誓や今後の活動について質問があった。質問を受けたキャプテンらが一度別室に移り、宣言の最終検討を行っている間、舞台上では日発太鼓倶楽部による太鼓のパフォーマンス、劇団こころによるハマこい踊りが行われた。

閉会式で、キャプテンの代表によって最終決定した宣言が発表され、会場からは大きな拍手が沸き上がった。

宣言は、「スポーツを通してフェアプレー精神をさらに広めるとともに、自らが努力・挑戦を継続し、環境問題の解決、そして世界平和につなげる」という趣旨の内容となった。

宣言の詳細は以下のURLでご覧になれます。
<http://www.jtu.or.jp/yokohama/event/summit.html>

23日(日)に行われる世界キッズトライアスロンは、キッズ②(10～15歳)が13:00、キッズ①(6～9歳)が14:05にスタート。



水泳で学んだことを話す田中雅美さん



総合コーディネーターの間野義之早稲田大学スポーツ科学学術院教授が田中さんにさまざまな質問をぶつけた

JTU Official Partners & Official Suppliers

